

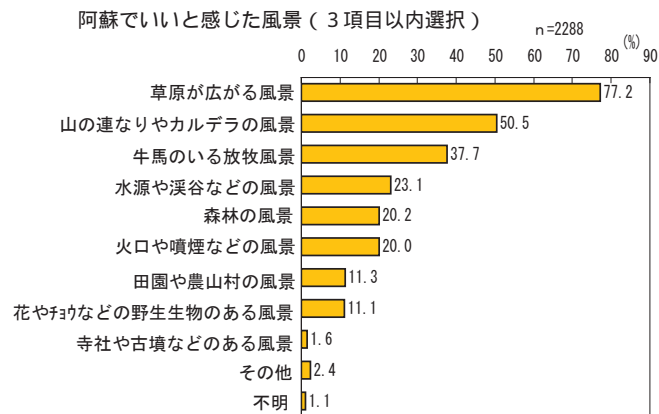
草原景観に関するアンケート調査結果

草原保全に向けた都市住民と地域住民の合意形成を進めるにあたって、それぞれの意向を調べてみました。都市住民を代表して阿蘇に訪れる観光客を、地域住民を代表して、草原の入会権を持ち利用・管理する牧野組合員を、それぞれ対象としたアンケート調査を行いました。その結果、双方の認識の違いや共通点などがわかってきました。

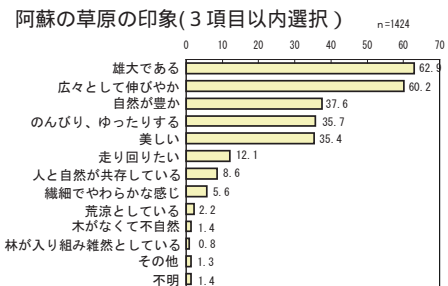
☆観光客にとって阿蘇の魅力の中心は草原☆

観光客アンケート調査結果より

・阿蘇でいいと感じた風景は、「草原が広がる風景」が77%と群を抜き、次いで「山の連なりやカルデラの風景」「牛馬のいる放牧風景」とつづき、牛馬放牧の場としての草原景観が阿蘇を代表する風景となっています。



○草原の印象として、「雄大」「広々として伸びやか」とのイメージが強い

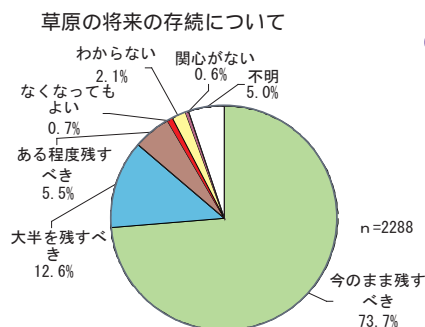


宿泊施設のみ設問項目

■草原の将来の存続について

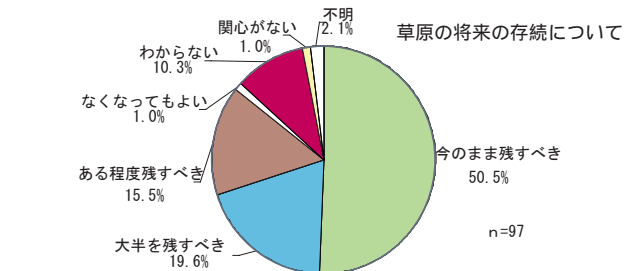
観光客

○草原を残すべきとの意見が大半



牧野組合員

○草原を残すべきとの意向は強いが、すべて可能とは考えていない



草原を残すべき理由（3項目以内選択） n=83 (%)

